

三重病院職場訪問 タケオの部屋 4



タケオの部屋 第4回は、「医療安全管理室」にお邪魔し、臨床工学技士の橋爪 康高さんにお話を伺いました。

タケオ ○ 臨床工学技士の方はどのような仕事をされているのですか？

橋爪 ○ 人工呼吸器をはじめとする、医療機器の操作、日頃の保守・点検が主な業務となります。毎日病棟をまわり、医療機器にトラブルがないかを確認し、その後保守点検を行っています。また、外来患者様の呼吸器回路の交換、輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器の定期点検のための入れ替え作業等も行っています。

タケオ ○ 患者様の生命にも関わる医療機器ですが、医療機器の点検時に気を付けていることはありますか？

橋爪 ○ 医療機器の点検には絶対的確か性が求められます。従って常に使命感と責任感をもって取り組んでいます。特に人工呼吸器の動作確認は、台数が多いのですが、1週間のうちに全ての人工呼吸器を確認するようにしています。また、AEDや保育器といった機器に関し



ても、緊急時に使えないといったことが無いよう、定期的に点検を行っています。

タケオ ○ 現在、三重病院に臨床工学技士は橋爪さん1人しかいらっしゃいませんが、1人で大変ではないですか？

橋爪 ○ 心細い面もありますが、週に1回他の病院の臨床工学技士の方が手伝いに来てくれますし、医者や看護師、業者の方ともうまく連携をとりながら業務を行うことができていますので1人だから大変だということはないです。

タケオ ○ 心強いですね。ありがとうございました。

この後も、「タケオの部屋」続きます。乞う、ご期待!! リクエスト募集中。

医療安全管理室からのお知らせ

14

“2病棟”

2病棟は、新生児から高校生ままでを対象とする小児病棟です。からだの大きさに合わせて、さまざまな医療器具が準備してあります。

主に乳幼児の方にご利用いただく『サークルベッド』もそのひとつです。サークルベッドのベッド柵は、お子様がベッドの上で立ち上がったり、バランスを崩したりしても、ベッドから転落しないようにベッド柵が約60cmと、普通のベッド(約35cm)より高くなっています。しかし、サークルベッドを使うことで安全がすべて守れるというわけではなく、正しく使わないと逆に危険な状態を作ってしまうこともあります。

サークルベッドを正しくご利用いただくために、私た



柵が上まで上がるとこんなに安全!



柵を下げるとこんなに無防備!

ち看護師は、入院時にベッドの使用方法や注意点などの説明をさせていただいています。また、看護師がお部屋に伺った際には、「落ちると危ないので、ベッド柵はしっかりと上までしておきますね。」と言葉をおかけし、転落防止に努めています。

● お子様は予期せぬ行動をとるものです。ご家族さまがベッドから離れる後を追ってそのままベッドから転落したり、「少しの間だから」、「寝ているから」、「寝返りできないから」など、ベッド柵が上まで上がっていない状態で、ベッドのそばを離れた結果、転落することもありました。ベッドからの転落は、わずかな時間でも起こり得ます。安全に入院生活が送れるよう、ご家族のみならずご協力よろしくお願い致します。

(医療安全推進担当者・2病棟副看護師長 東岡 史)

やまばと
ギャラリー

病棟の子どもたちが
作りました



ほくの好きなエビフライ!

